

第4回 サステナビリティ経営課題 実態調査

ー参加企業募集中ー

経営戦略において必須のサステナビリティ経営

経営者の思いを浸透させ、
社内外との連携を強化することで、
経済的価値と社会的価値の「一挙両立」を
実現する新規事業やビジネスを創出し、
永続的な発展を目指す

調査に関する問合せ

株式会社日本能率協会コンサルティング
サステナビリティ経営課題実態調査 事務局
info_jmac@jmac.co.jp

JMAC JMAM JMAR JMAS

株式会社日本能率協会コンサルティング
株式会社日本能率協会マネジメントセンター
株式会社日本能率協会総合研究所
株式会社ジェーエムエーシステムズ

第4回調査 実施概要

日本能率協会ホールディングスグループ（日本能率協会コンサルティング（JMAC）、日本能率協会マネジメントセンター（JMAM）、日本能率協会総合研究所（JMAR）、ジェーエムエーシステムズ（JMAS））は、近年の企業経営と社会のキーワードでもある『サステナビリティ経営』の実像を探るため4社合同での『サステナビリティ経営課題実態調査』を2022年より実施しております。

経営課題として定着しているサステナビリティ経営ですが、過去3回の調査を経て見えてきたのは、多くの企業が、現場への浸透や企業文化の醸成、サステナビリティ事業への投資、外部連携などに苦慮しており、停滞感が広がっているということです。

「第4回サステナビリティ経営課題実態調査」では、日本企業が一挙両立のサステナビリティ経営を実現し、経済と社会の両方でのプレゼンスを高めることを目指して、現場への浸透、内外との連携、財務価値と非財務価値の統合、DXを活用したサステナビリティ経営など、日本企業のサステナビリティ経営の実態を探ります。

是非、調査にご参加いただき、自社の今・これからの課題の洗い出しなどにご活用ください。

調査概要

調査目的	日本企業がサステナビリティ経営を推進するにあたっての重要な経営課題を明らかにするとともに、サステナビリティ戦略や施策決定へ役立てることを目的とする
調査対象	国内事業会社（会社規模、業種業態等不問） サステナビリティ経営推進をミッションとしている部門（サステナブル推進部門、経営企画室、人事、広報など）
調査方法	WEBアンケート調査
調査時期	2026年7月24日（金）～9月5日（土）
参加方法	https://jp.research.net/r/sus-2026 

・お申込情報は共催各社で実態調査実施および分析目的の範囲内で共有させていただきます。ご確認の上、お申込みください。
【JMAC個人情報保護方針】 【JMAR個人情報保護方針】 【JMAM個人情報保護方針】 【JMAS個人情報保護方針】

これからのサステナビリティ経営に向けた提言（第3回調査より抜粋）

サステナビリティ経営は「企業文化変革」のステージへ

第3回調査では、制度対応や情報開示はあくまで「前提」であり、それ自体では競争優位を生み出さない時代を迎えていることが確認できました。

PBRが高く将来性のある企業は、仕組みを導入するだけではなく、企業文化を変革してサステナビリティを事業成長の駆動力に変えていることもわかりました。

企業文化変革のための3つの視点を提言しました。

1. 変革の「Why」の浸透と自分事化
2. 人的資本の最大化
3. 継続的な「挑戦」の奨励



自社らしいサステナビリティ経営を推進するための4つのコンセプト・10の特徴

過去3回実施した調査を経て、本調査チームでは、サステナビリティ経営推進の取り組みが進んでいると思われる企業に共通するポイントを整理し、4つのコンセプトと10の取り組みを実施することがサステナビリティ企業に近づくために重要であると提言しています。

